



自然と人間社会が共生する只見町

# 議会だより

No.178

令和7年1月31日発行

2025 JANUARY



## 只見保育所 はっぴー はっぴょうかい

(表紙の説明は12ページへ)

議会報告会開催 ..... 2~4

只見中学生による只見町政策提言！ ... 8~10

11名が町政を問う！一般質問 ..... 13~24

只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
議会中継へ➡



# いつ、複合施設は、安全対策は？

12月1日に只見・朝日・明和地区において、議会報告会が開催されました。報告会には過去最高である計61名の出席があり、様々な御意見をいただきました。今後、議会ではいただいた御意見を、町政に反映できるように各委員会で調査を進めてまいります。

## 只見会場意見

**町民意見** 駅前複合施設の進捗状況は、289号開通に間に合うか。

冬期間を考え、地元の人でも利用しやすい施設に。運営体制はどのように考えているか。



**議会回答** 町は、開通に間に合うように建設したい意向。町民利用も考え、町民の憩いの場、子供を遊ばせる施設の併設も計画している。

運営体制は、指定管理制度の適用を考え、計画中。

議会は、施設や運用計画において、不確定な部分が多く、詳細を把握できていないので、今後担当委員会を中心に調査を進めていく。  
**町民意見** 議員選挙にならなかつたことで、議員定数の見直しは。議会では、各集落の現状を視察し、住民意見を把握して欲しい。



**議会回答** 議員のなり手不足の解消と、議員定数の見直しは今期中に審議し、次期選挙までに結論を出したい。

集落の視察は、早急に実施したい。

**町民意見** 定数と同時に議員報酬も検討して欲しい。  
**議会回答** 議員報酬は定数と併せて協議する。

**町民意見** 限界集落が増える。集落負担の軽減と補助の充実を求めらる。

**議会回答** 集落補助は実情を把握し、町へ要望する。

**町民意見** 役場庁舎の統合（新築）はどうなっているか、議会説明はあるか。

**議会回答** 議会への説明はない。今後一般質問等で取り上げたい。

**町民意見** 行政手続きをするのに、庁舎を2カ所回った。庁舎建設には議会も関心を寄せて欲しい。

**議会回答** 庁舎建設について町の考えを調査していく。

**町民意見** 289号開通に向けての進捗状況は。

**議会回答** 289号開通は令和8年秋の開通を目的に工事を実施しているとの説明を受



# 289号開通に向け、開通は



湯ら里の源泉ポンプ改修は、次年度に計画

**議会**  
**回答** 湯ら里の改修計画は、議会の特別委員会にて提案したが、町の計画にはまだあがっていない。

**町民**  
**意見** 湯ら里の改修・改造計画はどうなっているか。

けているが、冬期の全線開通の時期については明言されていない。

や、小学校統合問題も含めて、調査を進めていく。

**議会**  
**回答** 現在の朝日保育所1カ所と3地区の3歳以上の園児を幼保連携型の認定こども園に統合するという内容。議会では、施設の問題や、小学校統合問題も含めて、調査を進めていく。

中。薪ボイラーは現在使用中の灯油ボイラーの補助的役割で、灯油の使用量削減によるコストダウンと、間伐材の有効利用を図っている。



**町民**  
**意見** 認定こども園の内容は。

**町民**  
**意見** 無投票で当選した議員なので、もっと町民の意見を聞く機会を作りたい。

**議会**  
**回答** 小学校統合と学校新築は、提案者が提案できていない状況だ。今後も調査を進めていく。

**町民**  
**意見** 小学校統合と認定こども園の検討と併せて、老朽化した小学校新築も喫緊の課題として、考えて欲しい。

**町民**  
**意見** 小学校統合と認定こども園の検討と併せて、老朽化した小学校新築も喫緊の課題として、考えて欲しい。

なる検討を調査する。

**町民**  
**意見** 町内には危険空き家が増えていく。解体したいが、費用が都合できない人もある。対策はないか。

**町民**  
**意見** 小学校は1日でも早く統合して欲しい。

**町民**  
**意見** 小学校統合は、当局が在り方検討会で検討中だ、今後検討会の報告を基に当局と協議する。

**町民**  
**意見** 駅前複合施設に野外ステージは計画されているか。

**町民**  
**意見** 駅前複合施設に野外ステージは計画されているか。

制だが、まだ不十分と認識している。新たな

**町民**  
**意見** 常勤医がようやく1名確保できしたが、今後の朝日診療所の運営体制はどうなるのか。

**町民**  
**意見** 289号は開通しても当面は冬期通行止めと聞く。通年開通の見込みは。

**町民**  
**意見** 289号は開通しても当面は冬期通行止めと聞く。通年開通の見込みは。

**町民**  
**意見** 289号は開通しても当面は冬期通行止めと聞く。通年開通の見込みは。



朝日会場意見



常勤医の確保に向けて、当局とともに取り組んでいく。

**町民意見** 医師の不在により、医療・介護施設現場の勤務体制が苛酷になっている。対策を求める。

**議会回答** 町はオンライン診療も検討しているが、医師確保が喫緊の課題と認識している。継続して取り組んでいく。

**町民意見** 学校の裏山や通学路等、熊やイノシシからの安全対策をしてほしい。

**議会回答** 町はオンライン診療も検討しているが、医師確保が喫緊の課題と認識している。継続して取り組んでいく。

**議会回答** 裏山に緩衝地帯を設けるなどの対策を実施しているが、引き続き調査と対策を求めていく。

### 明和会場意見

**町民意見** 移動販売車が休止している。再開の目途はあるか。

**議会回答** 現在は2台とも休止している状態だ。送迎を実施している地区もあるが、買い物弱者対策は引き続き、要請していく。



**町民意見** 布沢地区の水路災害が町では災害認定されなかった。担当委員会はどうか。

**議会回答** 現地視察を実施したが、時間の経過もあり、災害か否かの判断は出来なかった。補助事業の目的が達成できていないことは、問題視し、当局の対応を求める。

**町民意見** 冬期孤立住宅の問題は、町内に同様の箇所

が数カ所あるため、当局と対応を検討していく。

**町民意見** むら湯の給湯温度が低い。対策を。

**議会回答** 揚湯量が減少していることが原因とみられる。今後源泉ポンプの改修計画があることから、対応策を求めていく。

**町民意見** 移動販売車の休止理由は収支が赤字だからだ。町補助、JA、商工会など協力・協賛での再開を求める。

**議会回答** 移動販売車にとらわ



れずに買い物代行サービスなど、実現可能な方法を探っては。

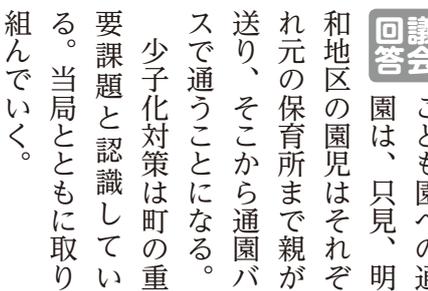
**議会回答** 町長からは福祉公社という発言もあったが、担当委員会で協議を進めていく。

**町民意見** 289号開通に合わせた交通安全対策は。

**議会回答** 交通安全対策は、国道改良と含めて、国・県に要望中であり、継続して要望活動を続ける。

**町民意見** 認定こども園の通園方法は。少子化対策を進めて欲しい。

**議会回答** こども園への通園は、只見、明和地区の園児はそれぞれ元の保育所まで親が送り、そこから通園バスで通うことになる。少子化対策は町の重要課題と認識している。当局とともに取り組んでいく。



# 10月 会議

## 湯ら里に薪ボイラー施設建設へ

10月21日に開会され、湯ら里に新設される薪ボイラー施設の建物と設備の工事請負契約が可決され、2件の陳情について採択されました。

### 工事請負契約

●薪ボイラー設備整備  
工事（建築）

7920万円

●薪ボイラー設備整備  
工事（機械設備）

1億7050万円

### 質疑



薪ボイラーの稼働開始時期はいつか。



令和7年秋ごろと見込んでいる。

### 陳情

#### 黒谷字寺ノ下地内の町道拡幅改良に関する陳情

陳情者：黒谷区長 吉津栄一

理由：現地調査の結果、大型車両の往来により路盤が沈下しており雨水や冬季間には越水した用水が道路下にある家屋の玄関にまで流入している。路盤整備を早急を実施し雨水等の流入対策が必要である。

審査結果：採択

### 採択

#### 黒田字井戸尻地内の町道整備に関する陳情

陳情者：黒谷区長 吉津栄一

理由：未舗装の町道。スノーステーションの裏側であることから大変危険な箇所であり、周辺住民の利便性、安全を考慮し早急な整備が必要である。

審査結果：採択

# 11月 会議

## 只見町認定こども園条例可決

11月11日に開会され、只見町認定こども園条例、南会津地方環境衛生組合の解散、一般会計補正予算では給食センターの機器更新予算が可決されました。

### 条例改正1件

●只見町認定こども園条例

### 質疑



保育士からは体制に不安の声がある。



配置基準の職員数は満たしているが、なお不安の声もあるため個別面談を実施し不安解消に努めている。



待機児童対策は。



認定こども園になると保護者の就労状況にかかわらず入園できるため待機児童はないものとする。

### 一般会計補正予算

●かき上げ式食器洗浄機1台

1276万円

給食センター機器の老朽化による更新のため

# 選挙管理委員決まる

12月  
会議

12月17日から4日間開催され、4件の条例改正や一般会計補正予算などの議案が提出され、慎重審議の上、可決されました。

一般会計補正予算は人事院勧告による人件費の増額補正が主な内容でした。また、選挙管理委員会の委員改選に伴う選挙が行われました。

## 条例改正 4 件

人事院勧告による人件費の増額補正、4 件の条例改正

## 補正予算

### 一般会計補正予算

#### 質疑



介護タクシー補助金、利用状況は。



昨年度よりも登録者数が増えている。



燃料費高騰に対する補正予算要求はないのか。



今後、3月までの間に不足が生じる場合には改めて補正予算をお願いしたい。

### 只見町国民健康保険施設（朝日診療所）特別会計補正予算

#### 質疑



入院休止で大幅な減収となる。財源対策は。



財政的には厳しくなるが、歳出削減や基金の活用など対策し何としても最低限の外来診療を守りたい。



保健福祉課長と診療所事務長が兼務だが、今後の方針は。



来年度の定期人事異動では専任の配置を検討。

## 選挙管理委員

### 選挙管理委員会委員

吉津秀一氏（長浜）、目黒芳美氏（石伏）、渡部純子氏（只見）、五十嵐利明氏（塩之岐）

### 選挙管理委員会委員補充員

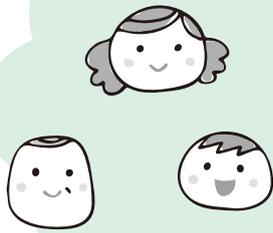
目黒長一氏（只見）、渡部淑代氏（小林）、横山加津也氏（榎戸）、鈴木幸子氏（只見）

## 全員協議会

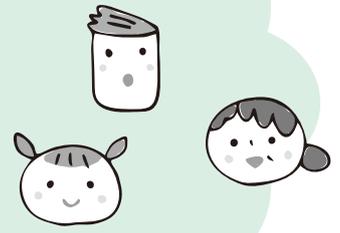
- 実施計画を精査 令和7・8年度の主要事業（実施計画）が示され活発な質疑が行われた。
- 只見町議会会議規則の改定を協議
- 町民の声を町政に反映 議会報告会での町民の声を各担当委員会に振り分け、議論をしていく。
- タブレット端末の勉強会を実施

次年度、正式導入を目指している電子機器の活用事例を紹介。

「慣れるまでが大変だが利便性がある」「セキュリティの研究が必要」などの意見があった。



# 町民の声



町のこと、議会のことについて想いを聞きました。

## 町長の選挙公約

### 「医療の充実」を

50代 女性

人は誰でも、いつか死を迎えます。朝日診療所での入院再開をするには医師5名体制という高いハードル。今以上の医師確保は非常に難しいとは思いますがせめて「看取り入院」を再開してもらえないでしょうか。田島、若松、坂下の病院に入院しても、一定期間が過ぎると退院しなければなりません、身寄りのない人、老々介護と自宅で看ることが出来ない人にとっては大変なことです。本人も家族の負担も少なくて済む、住み慣れた町、朝日診療所での「看取り入院」が一刻も早くできるよう切に願います。

個人としても健康づくりに努力し、生涯現役、医療に頼らない、笑顔で健康な町づくりに貢献していきたいと思えます。



## 子育て環境の充実を

50代 女性

私は、今の子育て環境について考えていることを述べさせていただきます。

私たちが子供の頃と比べると、子育て環境において、子宝祝い金や保育料、給食費の無料化など様々な補助が充実していて、金銭的にも助かっていると思います。

一方で、「子どもたち自身が只見に生まれた幸せを十分に感じて育っているのか」と考えると、少し疑問を感じます。大自然に囲まれた中で生活しているながら、山や川で遊び、学ぶ機会が少なく、遊べる環境も十分には整っていないと思います。公園の遊具やトイレも古いままで。

今後の行政に望むことは自然の中でのびのびと育てることが出来る環境整備と、認定こども園や小学校の統合に併せた教育施設の整備を強く望みます。

併せて安心して子供を育てられる医療体制の充実を願います。

子どもたちが「只見で育って良かった。大人になっても只見で暮らしたい」と思える町づくりを期待しています。

# 只見町政策提言!

1班

只見町のためにできること  
～人口減少とその対策～



## —概要—

只見町の人口の現状とピーク時と比較し、人口減少の理由を考察。自然増減と社会増減も比較し、両方とも減少している事実を確認。只見町に移住している世帯の就業状況は農業が多いという調査結果。「只見町＝農業」の

イメージ戦略を打ち出すために、農業体験を交えた体験型移住体験ツアーを企画。

そのツアー企画を雪まつりなどの只見町のお祭りでPRする。農家の皆さんに協力してもらいながら、中高生ブースで出店する。

2班

只見町の観光業を発展させるには



## —概要—

テーマ設定の背景には、人口減少と少子高齢化に歯止めをかけたい。そのため観光業の発展が重要だと考えた。只見町の現状の観光は、自然を活かしきれていないかもしれない設定でスタート。季節に合わせた一泊二日ツアーを企画。

夏のツアーは、電動アシスト自転車移動しながら、釣り、BBQ、川遊び、サウナを体験。冬のツアーは、北欧や南魚沼市で展開されているアウトドアサウナをメイン企画に。北海道十勝地方、大分県豊後大野市はサウナで経済効果が高いという先進事例も紹介。今後は四季折々のツアー内容を考え、この活動を広めるポスター等を作成したい。

# 只見中学生による

## 3班 観光スポットの増加とイベントに関する提案

### —概要—

自分たちの取り組みによって、観光客を増やしたい。そのために観光スポットを増加するのはどうか。そうしてテーマが設定された。南会津四町村で過去10年間の観光客数の推移を調査。コロナウイルスの影響も同時に調べる。只見町に観光客

が少ないという事実。只見スキー場は夏は稼働していないため、ジップラインを導入するのはどうか。導入費用も概算で積算しメリット・デメリットを考察。相乗効果として花を植える、ウッドチップを敷くなどの景観を整備する方策も提案。



## 4班

## 自然を活かした只見町の観光業の現状とさらなる発展に向けた改善策

### —概要—

只見町の観光業を詳しく知りたい、観光業にもっと自然を活かしたいからスタートした。観光客動向を調査する経過で道の駅計画があることを知り、道の駅の建設を提案。計画の設置場所は雪まつり会場になっているので

別の候補地を三ヶ所提案。道の駅には薪ストーブ、規格外の野菜などの特徴を出す。八十里開通により三条市と交流増進でき、観光客の増加に期待できることも視野に入れる。



## 5班

# 只見町の自然を守る取り組みを考えよう



### —概要—

只見町の自然を保護する取り組みは必要と考えテーマを決める。自然保護条例などの実施している政策を調査。他地域の先進事例として「アニメルパスウェイ」を提案。これは小動物が車に轢かれないように動物専用道

を上空につくるもの。田子倉ダムや八十里越道路に必要ではないか。このような自然保護の情報発信が現状では弱いと感じる。まずは広報ただみで発信するのだろうか。

## 6班

# 戦争や紛争からメカニズムを学び、町からできることについて考える



### —概要—

戦争を解決するために只見町でできることを考えたい。紛争の現状、戦争が起きる要因、武器販売総額の国別割合を調査し裏付けを固める。戦争のデメリット、世界の難民の数、福島県での受入数、他国の戦争が日本に

及ぼす影響も調べる。只見町の空家を活用した難民の受入れを提案。戦争による物価高などの対策として、限りある資源を大切に使うため、ペットボトルの回収など3Rの推進を自分たちの第一歩として活動したい。

12月会議の最終日の会議終了後に、只見中学校3年生の皆さんが只見町議会・当局に政策提言をしてくださいました。“持続可能な社会をつくろう”と題し、6班に分かれ「人口減少」「観光」「自然」「戦争」などのテーマを決めた内容でした。



発表に使った資料は、QRコードを読み込んで閲覧することができます。

## ●朝日診療所 更なる医師確保、安定した医療体制を

朝日診療所が10月以降の常勤医師不在の状況から、朝日診療所及び福祉施設の現地調査を行った。常勤医師不在の状況は各施設とも大きな影響があり、また非常勤医師の方々の負担も少なからずある状況も把握された。11月から「ふくしま医師移住定住促進事業」を通じ常勤医師1名が採用されたことは大きいことであるが、当地域での医療体制としてはまだ不安定な要素も多いことから、更なる医師確保、医療体制の安定に向けて調査を継続する。

## ●只見町の小学校の在り方は

小学校在り方検討会について会議の進捗状況について説明を求めた。これは今後の只見町の教育の方向性を判断するため、重要なことであるため、継続して調査する。

## ●認定こども園 条例提案（11月会議で議決）

認定こども園は来年4月開所予定で、条例提案の説明があり、付随する規則等について既存の保育所条例、規則との整合性等分かりやすく整理するよう求めた。令和7年4月の開所に向けての運営体制等含めて継続して調査する。

## ●成年後見人制度と只見町の現状

町内での実例を含め各種の取り組み状況の説明を受けた。高齢化、单身世帯の増加等、地域での潜在化している課題に対応できるしくみ、体制づくりが求められている。

## ●駅前複合施設に何が必要か

複合施設に何が必要か  
町は駅前複合施設内に

- ① 観光情報発信・誘客促進施設
  - ② 町民生活の支援施設
  - ③ 子育て・コミュニティ施設
  - ④ 持続可能な地域振興施設
  - ⑤ アウトドアフィールド拠点施設
- と5つ掲げ、動きだそうとしている。

委員会では、長野県飯山市にある「道の駅千曲川」と併設して建てられている「モンベル飯山店」、長野県木島村、子育て・コミュニティ施設を持つ「道の駅FARMUS木島平」を視察。幾つかの課題も見え、今後の駅前複合施設建設に必要なものは何か。今後の委員会ですっかりと調査していきたい。



何が必要か

- 9月19日
  - ・ 9月会議追加議案
  - ・ 財産の取得等
- 10月21日
  - ・ 10月会議の開催
  - ・ 工事請負契約の締結等
- 11月11日
  - ・ 11月会議の開催
  - ・ 認定こども園条例等
- 11月26日
  - ・ 所管事務調査
  - ・ 議員のなり手不足
  - ・ 会議規則の改正協議
- 12月12日
  - ・ 12月会議提出議案等協議
  - ・ 請願・陳情
  - ・ 選挙管理委員の選挙方法
  - ・ 議会報告会の実施結果とその対策等

## ● 議会だよりの意義を再検討

議会だよりは「町民と議会との交流の場」を目指す。その実現のための手段としての「議会モニター制度の導入」を目的とし、視察研修を実施することに決定した。

開かれた議会を実現するために、結果を伝えるだけの紙面ではなく、どのような議論がなされたのか等の「議会活動が見える紙面」が必要である。各常任委員会の紙面の拡大、「教えて議会のこと」の必要性（役割）の見直しなどの意見が

あった。

現行の「議会だより作成マニュアル」を確認したところ、実情に合わせた改訂が必要という委員会の結論になった。

他自治体議会の「議会広報編集要綱」を参考にし、先人の思いを尊重しつつ体系化を進めていく。令和6年度末を目標に、只見町議会基本条例を上位とした只見町議会議会だより発行要綱・仕様書を作成することとした。

## ● ICT化は手段であり、目的ではない

現状の只見町議会会議規則等と町村議会標準会議規則等との違いを確認し、改定が必要であると決定した。

ICT化に関する議論では、「公費で電子機器を購入するのであれば、セキュリティ等、利用にあたっての仕様書が必要」「ICT化は町当局が本来進めるべきもの」等の意見があった。

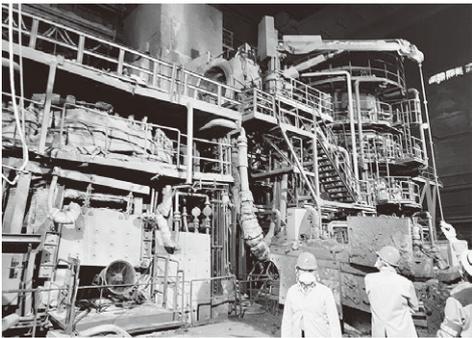
ICT化をすることは手段であり、目的ではない。誰にどのような価値を提供するのが重要である。議員全員がタブレット端末を使う必要があるのか、予算化する必要があるのか。タブレット端末を導入する結論ありきの議論にならないよう、議員全員で共通認識を持つための勉強会を継続する。

## ● 使用済み乾電池の資源化システムを学ぶ

南会津地方環境衛生組合は11月27日、28日まで、茨城県神栖市のJFE条鋼株式会社鹿島製造所と神奈川県横浜市の三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社に於いて研修を実施した。

JFE条鋼株式会社鹿島製造所では使用済み乾電池の資源化に取り組んでおり、製鉄炉に使用済み乾電池を投入することで完全溶融するため最終処分場へ持ち込むことなく環境負荷低減の社会的意義が大きい。

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社では一般廃棄物焼却施設、ストロカー炉、脱炭素に向けた取り組み事例、食品残渣を利用したバイオマス資源化技術について説明を受けた。



乾電池も溶かす製鉄炉



## はっぴーはっぴょうかい開催

令和6年11月27日に開催された只見保育所のはっぴーはっぴょうかい、さくら組女の子のゆうぎの1コマです。一生懸命練習した劇、ゆうぎ等を発表する子供たちは、始まりから終わりまでニコニコ笑顔で発表しており、見に来ていた家族も笑顔になっていました。



各議員のところにQRコードを付けてみました。

一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

\*注 2~3名が一緒に録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

## 一般質問

- **鈴木 好行** .....14  
「第7次只見町振興計画」の評価は
- **小沼 信孝** .....15  
今後の医療体制の方向性は
- **矢沢 明伸** .....16  
公共交通体系の今後は
- **酒井 右一** .....17  
朝日診療所のあるべき具体的な姿は
- **平山真恵美** .....18  
認定こども園の目指す方針とは
- **目黒 道人** .....19  
複合施設と雪まつり、狭くないか
- **中野 大徳** .....20  
朝日診療所診療体制の拡充を
- **齋藤 猛** .....21  
集落運営の支援方法は
- **菅家 忠** .....22  
薪エネルギー事業のネックとは
- **山岸 国夫** .....23  
難聴者への補聴器購入補助を
- **角田 誠** .....24  
観光で稼ぐまちづくりとは

# 町政を問う

町を想い11名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

# 「第7次只見町振興計画」 の評価は



すずき よしゆき  
鈴木好行 議員

**答** アンケートを通して内部検証を実施

**答** 厳しい数字と認識している。

少、町内経済の衰退、医療体制の弱体化などに歯止めをかけられないことから、効果が上がっていないと判断するが、いかがか。

**問** 人口ビジョンを下回る人口減

結果に基づき内部検証を実施した。

**答** 町民アンケートを実施し、その

効性をどのように評価しているか。

**問** 「第7次只見町振興計画」の実

**問** 「第7次只見町振興計画」には10年後の姿が明確に示されていない。「第8次只見町振興計画」の策定にはKGI（最終目標値）を定め、KPI（目標達成に向けた評価指標）を具体的に記載すべきだ。

**答** 「第7次只見町振興計画」の評

価検証をふまえて、「第8次只見町振興計画」は成果指標を設けて作成したい。

**問** 「第8次只見町振興計画」の策

定方法は従来通りか。

**答** 策定方法は従来通りと考えてい

る。

**問** 現在の中学生、高校生は10年後

には、只見町を担う年齢になる。夢や希望の持てる振興計画にすべきだ。

**答** 若い世代が希望を持てるような「第8次只見町振興計画」にしたい。

## 役場庁舎、 建設時期及び規模は

**答** 「第8次只見町振興計画」に併せ、検討する。

**問** 役場庁舎の建設時期と規模は、

どのように考えているか。

**答** 建設規模は人口

減少もあり、平成26年に計画した規模より、縮小したい。建設時期については未定だが、「第8次只見町振興計画」で検討したい。

**問** 道の駅建設の必要性と、建設時期は。

**答** 「休憩機能」、「地域連携機能」、

「情報発信機能」の役割を果たすもので、必要と考えるが、建設時期は検討に至っていない。

**問** 「町下管理棟」が老朽化により、

機能していない。「屋内運動施設」整備計画は。関係団体と協議して、進めたい。



# 今後の医療体制の方向性は

**答** 安定した医療の提供を第一に

**問** 二期目を迎え今後も常勤医師の確保に努め入院業務を再開する考えは。

**答** 医師募集は引き続き行っていく予定です。入院受け入れを再開するには、常勤医師5名程度が必要と考えられますが外来・訪問診療、高齢者施設の

回診を中心に安定した医療の提供を第一に考える。

**問** 入院を再開するのは困難なことだと思うが、町民が望むこととして、町長として再開する考えはないのか。



お ぬま のぶ たか  
**小沼 信孝** 議員

**答** 町長として国の制度や人財確保を考えると実現できないことを話す訳にはいかない、極めて難しい。

**問** 町長としての考えを聴いている、入院再開は無理だということか。

**答** 新たな4年の任期の中では朝日診療所での入院は難しい。

**問** 医療体制について。町民からは解りづらいと声を聴くもう一度町民に対して詳しく解りやすい、しっかりとした広報をするべきではないか。

**答** より丁寧な、不安のある方に寄り添い、発信できる様にしていきたい。

**問** 通常の入院は現状無理なことは解ったが、せめて看取り入院だけでも再開出来ないか。

**答** 切実なことだと思う、体制が出来るように努力していきたい。

**問** 看取り入院を始めるといふことか。

**答** 介護付き多機能という仕組みがある、そういった施設として県とも話し合いをしている。

**問** やり方や制度はあると思うが看取り入院をしていくことか。

**答** 看取りの方の受け入れが叶うような体制作りを努めている。

**問** 時間をかけずに一日も早い取り組みをしていただきたい。

**答** 時期は示せないがスピード感を持って進めていきたい、来年度中には方向を示していきたい。

**問** 入院はできないが、看取り入院はできると言った情報発信もしていただきたい。

**答** 町としての見通しが出てくれば不安も少なくなる。しっかりとした情報発信をしていきたい。



入院再開は厳しい！

# 公共交通体系の 今後は？

**答** 移動手段の確保は重要である



や ざわ あき のぶ  
**矢沢明伸** 議員

**問**

只見町のデマンドタクシー「雪んこタクシー」は全国での先進的な導入で、18年も継続して運行されている。公共交通の体系を今後どのように維持、継続していくのが大きな課題でないか。

**答**

デマンド交通である「雪んこタクシー」はドアtoドアによる利便性を合わせたもので、利用者に寄り添った現行体制を維持し、デジタルデバイスを活用した管理シ

テムの導入など、費用対効果も含めた検討を進める必要があると考えている。

**問**

現在の交通体系の利用人数だけでなくどのような目的で利用されているのか、その動向、背景を把握することが必要でないか。「雪んこタクシー」

は診療所、スーパーへの買い物が多い。「自然首都只見号」は観光客だけでなく、南会津病院への利用が多いようだ。また、JR只見線は便が少なく、小出や坂下、会津若松市方面の病院の利用がしづらという話がある。地域の人が利用しやすい便となるよう要望すべきでないか。

**答**

JR只見線についてはJR新潟支社や東北本部へ具体的に要望を進めているところだ。今の只見町

の交通体系「雪んこタクシー」、「自然首都只見号」は、担っていたいている事業者の方々、毎日安定的に運行いただいていることがどれだけ大変なことか、今後の交通体系を考えていくにあたって、誰に担っていただくのか含め、町の環境面で補っていく施策としての構築が必要であり、総合的な見直しに着手していきたい。

**問**

交通体系が整っていれば良いというだけでなく、その利用状況、背景を捉え、掘り下げ、町づくり、政策目標との整合性を図り取り組んでほしい。

**答**

本当に困っている人の身になって、背景を掘り下げて考え政策立案すると思う思考回路が必要だと改めて受け止め、検討していきたい。



スムーズな運行を支える、雪んこタクシーのオペレーター

# 朝日診療所のあるべき具体的な姿は

【答】 複数の常勤医師による医療提供が理想

**問** 「国保朝日診療所」の使命とあるべき具体的な姿をどう描いているか。

**答** 只見町国民健康保険診療所条例

第3条第2項に、診療所の任務として、本町における保健施設の中核として、疾病の予防及び公衆衛生の向上増

進に寄与することと定められており、正にこれこそが朝日診療所の使命だと認識している。

朝日診療所は町内唯一の医療機関であり、

医療資源として維持していかななくてはならない大切な機関である。町民の健康維持、増進、疾病予防、治療、

継続的ケアなど包括的な機能を備え、町民の安心・安全に寄与していかなければならない。あるべき具体的な姿としては、複数の常勤医師による総合的な医療を提供できることが理想である。しかしながら、医師の働き方改革や医療人材不足もあり、現状は理想の姿にはなっていない。あるべき姿を目指して、

今後も常勤医師の確保及び医療人材の確保に努めていく。

今後、疾病の予防、増進、疾病予防、治療、



さか い ゆう いち  
**酒 井 右 一 議員**

## こども園と小学校の一体化整備は

【答】 人口動向等踏まえ施設再編を検討

**問**

朝日小学校の改築と町内三校の合併及び、こども園の小学校併設について、公共施設管理計画によると、現朝日小学校は改築とされている。これを契機にこども園と小学校を一体のものとして整備できないか。

**答**

「只見町公共施設等総合管理計画」では朝日小学校は劣化が著しく進行して

いるため、老朽化の状況を踏まえ10年以内に校舎の更新を目指す計画となっている。

保育所についても老朽化が進行している現状を踏まえ、計画的な維持管理を継続するとともに、将来の地域ごとの人口動向や地域ニーズ等を踏まえ、施設再編を検討することとしている。



# 認定こども園の 目指す方針とは

**答** 人格形成の土台づくりを本質とする



ひら やま ま え み  
**平山真恵美** 議員

**問**

認定こども園が  
目指す幼児教育  
の具体的な方向性とは  
どのようなものか。

**答**

幼児教育の本質  
は人格形成の土  
台づくりである。こども  
園・家庭・地域が一  
体となり、個性や可能  
性を伸ばし、子どもた  
ちが力強く生きる力を  
育む。保護者と成長を  
共有し、楽しく子育て  
ができる支援に努める。

**問**

認定こども園が  
果たす役割と地  
域に求められるあり方  
とはどのようなものか。

**答**

保育者と子ども  
の対話に加え、  
保護者と地域の対話も  
重ね、地域に開かれた  
園として役割を拡大し、  
地域全体で子育て・子  
育ちを支える拠点づく  
りを進める。

**問**

基本理念をクレ  
ド（信条）とし  
て利用者や地域住民に  
伝える必要性をどのよ  
うに考えるか。

**答**

認定こども園の  
基本理念は、①  
地域資源を活用した遊  
びや地域住民との関わ  
りを通じ、子どもの生  
きる力を育む、②家庭  
と園で成長を共有し、  
子育てを楽しめるよう  
支援する、の2つであ  
り、この理念を丁寧  
に広く啓発し伝えていく。

## 福祉拠点としての 認定こども園とは

**答** 横のつながり重視の組織体制を推進

**問**

認定こども園を  
核とした包括的  
福祉拠点づくりの見解  
はいかなるものか。

**答**

認定こども園は  
幼児教育・保育  
を一体的に提供し、子  
育て支援機能を持つ。  
横のつながりを活かし  
た相談・支援体制を整  
備し、家庭・地域・関  
係機関が連携して問題  
の未然防止に努め、地  
域全体で子どもたちの  
幸せな暮らしを守る基  
盤を形成する。

**問**

切れ目のない支  
援の実現のため  
の具体的な政策はある  
か。

**答**

子育て相談窓口  
を設け、必要に

応じて関係機関に繋ぐ  
ことで、すべての家庭  
が安心して子育てでき  
る体制を整備する。



# 複合施設と雪まつり、狭くないか

**答** 相乗効果を期待したい

**問** 建設位置イメージ図によると雪まつり会場の大半が複合施設になっている。今後、雪まつりは縮小していくのか。

**答** 基本計画の図はあくまでイメージであり正確な大きさや位置を示したものは無い。雪まつり会場

に施設ができることにはなるが、一部を利用するなど雪まつりの規模として縮小の考えはない。

**問** 雪まつりに対し施設の効果はどのようなものを想定しているか伺う。

**答** 休憩所として建物内で暖が取れ

る、快適なトイレの提供が可能になりこれまで以上の集客が見込まれるものと考えている。

**問** 施設があることにより雪まつり来場者数が5万人になるプランを伺う。

**答** いまのところプランは持ち合わせていないが、5万人の集客を見込む意気込みを持っていうメールと受け止める。

**問** 八十里越が開通しても数年は冬季閉鎖の計画だ。通年の商売は厳しい。通年通行可能になる時期までオープンが遅らせる考えはないか。

**答** 冬を意識しすぎてグリーンシーズンの誘客を逃したくない。目標としては令和9年初夏のオープンを目指したい。

**問** モンベルとの包括連携協定には

店舗の建設も含まれるのか。

**答** 協定の内容には含まれていない。個別の事業についてはお互いに協議する。

**問** 子育て支援のスペース、子どもたちが遊ぶには面積が小さい。モンベルショップの面積と入れ替えてはどうか。

**答** 子どもの遊び場施設については認定こども園や小学校の在り方検討会の文脈の中で検討していきたい。

**問** 地方創生事業を手掛ける企業はモンベルの他にもある。良品計画は生活雑貨全般を扱う無印良品を展開し、キャンプ場経営のノウハウもある。町民の利便性を考えると良品計画をパートナーにしても良いのではないか。

**答** 地方創生事業を手掛ける企業はモンベル以外にもある。良品計画は生活雑貨全般を扱う無印良品を展開し、キャンプ場経営のノウハウもある。町民の利便性を考えると良品計画をパートナーにしても良いのではないか。

**答** 選択肢としては考えられるが、物事には順番がある。



とみちぐるめ 議員 黒道人



大規模施設と雪まつり会場の調和が心配です

# 朝日診療所 診療体制の拡充を

**答** 関係機関と連携を図り努力する



なかのたかのり  
**中野大徳** 議員

**問** 現在、朝日診療所は応援医師と常勤医師1名により診療を行っており、今春のドクター不在の騒動からは一安心したところである。しかしながら町民からは、不満や将来の診療所に対する不安の声が聞こえてくる。夜間及び休日の診療体制拡充の考えは。

**答** 常勤医師1名の現状では夜間・休日の診療を再開することはかなわない状況であり、朝日診療所では医師の働き方改革に

より、医師の荷重労働を防ぐために6月から夜間、休日の診療を休止した。今後、複数の常勤医師が確保できなければ再開は難しい。医師の働き方改革により、入院を再開するためには常勤医師が必要であり、確保次第と考えている。

**問** 入院復活の可能性は。

**答** 可能性については、常勤医師の確保次第と考える。福島県や福島県立医科大学をはじめ、関係機関と更なる連携を図り、医師の確保に努めていく。

**問** 地理的に不利なところであるからドクターが必要であり、診療所に関してこの1年を見れば遅れをとったと考えるが見解は。

地理的に不利なところであるからドクターが必要であり、診療所に関してこの1年を見れば遅れをとったと考えるが見解は。

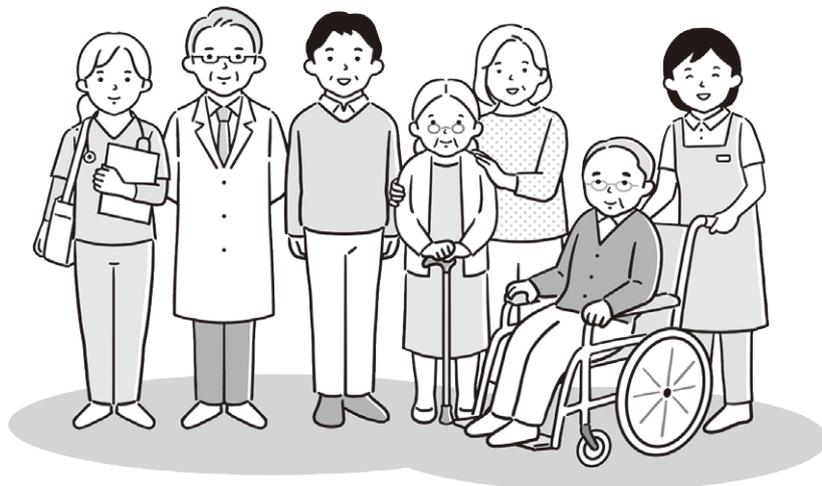
**答** 残念ながら認めざるを得ない。

**問** 只見町（医療・介護・福祉のあり方検討会）の出身は。

**答** 4月から12月まで5回開催し取りまとめた。一番大きなものとしては医師の確保である。医師の働き方改革等に関しては、町からの情報発信が遅いというところでは反省している。

**問** 医療と教育の格差は人口減少を加速させかねない。常勤医師の確保次第という答弁に町民は期待している。

**答** 急速に都市と地方の格差が広がってきていると感じている。市町村会等や様々なお力添えを頂きながら努力していく。



医師の確保を

# 集落運営の支援方法は

**答** 意見を聞き支援の充実を図りたい

**問** 集落支援金の増額の考えは。

**答** なかなか難しい。

**問** 集落施設設備事業で集落施設の補修等を行えないか。

**答** 修繕等は、公共事業補助金で相談してもらえば対応できるかもしれない。

**問** 維持管理がままならない組合水道の今後は。

**答** 公共事業補助金

が利用できるの  
で相談に乗りたい。

**問** 公民館の人員増の充実は。

**答** 各公民館長と情報、意思の共有を図り、集落に寄り添った対応ができるように努めて参りたい。



議員 猛 藤 とう さい 齋

## 建設業の持続化支援は

**答** 国、県と連携して取り組んでいる

**問** 建設業の持続化支援は。

**答** 建設業の生産性の向上と働き方の改革に国、県と連携し

て取り組んでいる。現在の主な取組みとして、一、「週休二日工事」により労働環境の改善を図る。二、現場環境を改善し、魅力ある仕事、現場の創造に努める。

三、「工事書類の標準化」で、国、県、町が同じ様式を使用することで、工事関係書類の業務削減を目的とする。の大きく三点である。

**問** 除排雪事業の継続対策は。

**答** 除雪単価の増額、待機補償制度の充実、「除雪オペレーター育成支援事業補助金」を実施している。

**問** 除雪支援システム<sup>※</sup>を導入して運転手の負担軽減を。

**答** 内容を確認し、研究させていた

**問** 289号線八十里地域の通信網の整備は。

**答** 福島、新潟県庁に陳情、要望活動を行っており、さらにその活動を強めていきたい。

**答** ※除雪支援システムとは、三次元地図を記録したタブレット端末を除雪車に搭載し、

測位衛星で位置を知らせるシステムであり、昭和村で実証実験中である。接触事故や脱輪・滑落を防ぎオペレーターの安全を守れるとともに作業効率の向上、修繕費削減を図れる。



タブレット端末を搭載した除雪車（昭和村）

# 薪エネルギー事業の ネックとは

**答** 事業の広がりには時間が必要



かん け 家 忠 議員

**問** 本事業は、町民に理解が広がっているか。

**答** 山林との関りが希薄なため、理解や関心が広がるのに時間は要する。森林所有者や集落等へ説明会で理解を広げていく。

**問** 薪ステーションは公共施設である。公共施設は町民のためが本質だと考える。

**答** 同感である。行政と町民との直接的なサービスだけではなく、町外との関係性の中で、「結果として

町民のためになる」発想の事業の取り組みも必要と考える。

**問** 「薪ストーブ要りませんか？補助しませんか？」の直球な政策ではなく、「どうすれば町民が森林を資源と感じ、困りごとを解消できるのか。」景観整備から始まるのか、家の支障木から始まるのか。町民の関心、需要と欲求を上げる段階からの政策が必要だと考える。

**答** まずは、湯ら里・むら湯に整備する薪ボイラーによって森林育成で得られる熱量のエネルギーで、莫大な量のお湯を温められること。それを町民の皆様が森林が重要な資源であることを実感していただきたい。

今は森林整備、育成、利活用へと進めている途上で、一度に全ての課題を解決できない。

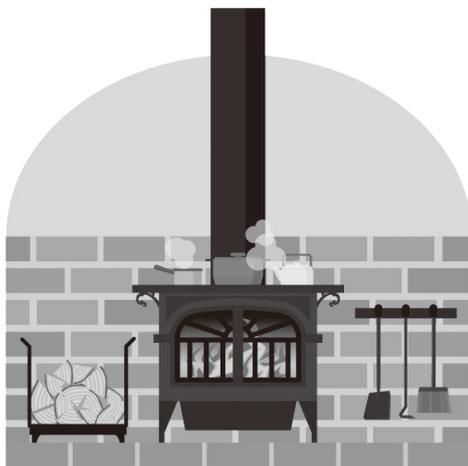
一歩ずつ着実に進めていきたい。

**問** 日本は食とエネルギーの自給率が低い。只見町の食は豊かである。熱は薪、電気は小水力でエネルギー自給率を上げられる。

**答** 「ただ見るだけ」と言われた只見町が日本で一番豊かな町になる夢を見ている。本事業は実現できる可能性があるため取組む価値があると考える。

**問** 「課題が山積している」と聞かされたことがあるが、課題が整理整頓できていないだけである。課題と課題ではないものに整理し、一本の道になるように整頓する。課題が山積していたら一歩が踏めない。その視点が只見町行政に不足していると感じる。

**答** 指摘どおり、具体的が見えてくれば「山積」は使わない。具体的にかつ建設的な態度で協議を重ねたい。



課題が山積しては一歩ずつ進めない。整理整頓が必要。

# 難聴者への 補聴器購入補助を

**答** 3月会議にむけ条例の提案も含め検討

**答** 内部で確定して  
ないが、成案が  
できたら担当委員会に  
かける方向で検討して  
いる。

## 問

身体障害者手帳  
交付の対象とな  
らない軽度・中程度の  
難聴者への補聴器購入  
補助制度創設を求めて  
きた。

上の間こえの調査結果  
を尊重し、12月議会に  
むけ補助制度について  
は踏み込んだ研究をす  
すめ報告をできるよう  
にしたい」であった。  
踏み込んだ研究結果に  
ついての、内容の報告  
を求める。

9月会議で補助制度  
の只見町の判断は何か  
の問いに対し、町長答  
弁は、「只見町は高齢化  
が進んでいる。75歳以

## 答

補助事業の創設  
を前向きに検討  
しているところである。  
補聴器購入の補助制度  
については、担当委員  
会の委員の皆さまとも  
協議しながら引き続き  
研究検討していく。

## 問

担当委員会と協  
議とは当局はそ  
れだけの案をもって望  
まれると思うが、どの  
様に考えているのか。

## 答

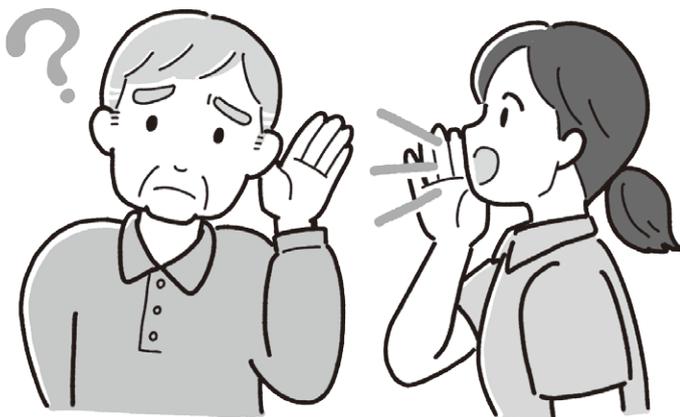
町当局の案を持  
ち担当委員会と  
相談する趣旨だ。

## 問

当局案の検討は、  
いつ頃委員会に  
提案するのか。3月会  
議にむけて条例の提案  
も含め検討している  
という認識でよいか。



お くに ぎし やま  
**山岸国夫** 議員



# 観光で稼ぐ まちづくりとは



つのだ まこと  
**角田 誠** 議員

**答** よりよい施策に結び付けていく

**答** どちらでも表示、ナビがされる様、見なびは連携されていないと感じるが、連携の検討はあるか。

**問** グーグルマップと観光アプリ只  
**答** 108の施設等に係る名称サインを128箇所設置した。また多言語化や表示内容を見やすくする変更を63箇所で行っている。

**問** 観光の目的地的である町内観光施設等を示す看板が少ない。完了しているのか。

**問** 会津塩沢駅に壁画が完成した。来年度、会津蒲生駅にも横展開したいとの答弁だが、他議員から質問があった観光周遊バスとの連結はあるのか。

**答** 私も考えは同じである。

**問** 観光事業は他事業と比較すると、一目でわかる成果が見えづらく、費用や労力を要してもあまり評価されないが、観光交流人口や移住検討人口の増加は町にとって重要なミッションであると考えらるがどうか。

**答** 運用開始時に検討はしたが、現状の通り。今後検討していく。

**問** ただみポイントカードと只見なびのポイントを連携させる考えはあるか。

現状を確認して検討する。

**答** 奥会津五町村のDMOも必要と考える。観光公社自身が町内のDMOの中心となり、第三セクターの統合を含めた要素も

**問** 組織再編、合併は大変重要で繊細な問題だ。ただ二つの会社が合併することによって町の観光、交流、移住検討人口の増加に繋がるのであれば推進するべきと考えらるがどうか。

**答** 両社の経営状況の安定に外部人材を活用して進めていきたい。

**問** 実施計画書にある外部人材活用事業、これは観光公社の取締役2名の資金であるが、組織再編されるまで支出するのか。

**答** お質しの通りで、新たな観光スポットの創出に努めていく。

やっつけていかなければならない。



※DMOとは、地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.42



アカシヨウちゃん

## 地方交付税って なんなの?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



**ブナりん** 町の運営でお金が足りなくなっちゃったよー  
なんとかならないかな?

**議長** そんな時に地方交付税っていう制度があるんだよ。

**ブナりん** え? 地方交付税? 聞いたことはあるけどよくわからないよ…

**議長** 国が地方自治体に財政的な支援を行う制度なんだ。

**イワっぺ** そうなんだ。  
でもなんでそんなの必要なの?



**議長** 地方によっては税収に差があるよね?  
すべての地域で同じ行政サービスを提供できるようにするためなんだよ。



**アカシヨウちゃん** どうやって金額とか決めてるのかな?

**議長** 財政状況や人口、面積などを総合的に判断して、国が交付額を決めてるんだ。

**イワっぺ** どんなことに使われるの。

**議長** 学校の運営や道路整備、福祉サービスなど、自由に使えるお金として地域の活性化に役立てられているんだよ。

**ブナりん** そんな制度があったんだね。ありがとう。また知らないことがあったら教えてね。

**議長** 地方交付税には普通と特別があるんだけど、またの機会にしようか。開かれた議会を目指しているから、いつでもおいでよ。



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。



只見町って  
なじよだよ?

## 只見町の良さについて



只見中学校

1年 矢沢 茜音

私が思う只見町の良さは二つあります。

一つ目は、自然がとても豊かなところです。只見町は、都会などにはない山々や水がおいしいこ

## 只見町の好きなおとこと課題



只見小学校

6年 増田 琉気

ぼくが思う只見町の好きなおところはたくさんあります。その中でも好き

となど、いろいろな自然があります。小学校の行事でも自然にふれる山登りが行われますが、他の学校にはないことができるのでとても良い経験にもなります。この自然の良さを地域の人や観光客にも広めたいです。

二つ目は、地域の方々優しいことです。いつも朝登校すると、必ず地域の方が元気な声であいさつしてくれます。お

なのは、自然が豊かなところです。只見小学校では、自然と触れあえる機会があります。「ふるさと登山」や「田植え体験」などです。只見町と違い、自然があまり無い県や市はこれらの体験ができません。体験ができる只見町はとて素晴らしいところだと思います。

げで私たちも明るい気持ちで学校に登校することができます。只見町の人

は、いつでも優しくあいさつしてくれるのでとても嬉しく思います。

このような只見町の自然の良さや地域の方々の優しさをこれからも繋げていきたいです。

ひとこと

こちらこそ、いつも元気な挨拶を返してくれてありがとう！

しかし、課題もあります。只見町は今、人口が減っています。若い人達が只見町に住んでくれるように、ぼくはこれからも考えていきます。

ひとこと

只見町の自然が好きなのが沢山増えるといいですよ。

## 編集後記

先の12月会議閉会の後、只見中学校3年生からの政策提言を聴く場が設けられました。いろんな課題に対しての提言でしたが「自分達・私たちにできること」からの視点があり、それは私たちも頑張るので、大人の方もよろしく願いますというメッセージが込められていたように感じました。ある新聞のコラムに、「聴く」という字は耳へんに十・四の心と書く。十四の心「尊敬・感謝・公平・謙虚・慈しむ……」をもって聴くんですよ、という記述がありました。改めて聴くということの大切さを心に留め置き、子どもたちや多くの町民の声を活かせるよう広報、広聴の活動に取り組んでいきたいと思っています。令和も早7年の年を迎えました。今冬は穏やかな冬であってほしいと願っているところです。

(矢沢明伸委員)



### 発行責任者

議長 佐藤 孝義

### 広報広聴常任委員会

委員長 菅家 忠

副委員長 目黒 道人

委員 鈴木 好行

委員 小沼 信孝

委員 矢沢 明伸

委員 角田 誠

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp